# 2010年シーズンダクトウォッチング/9~7エリア間オープン

2010年9月1日 JGOTEV 中村 豊

## 【実況・解析結果・考察】

本州付近は太平洋高気圧に覆われて今日も気温が上昇しました。

このため、北海道や小笠原諸島を除く広い範囲で負渦度領域に覆われています。

日本海や本州の南海上などところどころに下降流域が解析できます。

850hpa 面の湿数は稚内や札幌で 10℃以上となっていますが、本州の各地点は湿数 10℃以下に留まっています。 これに対応してエマグラムでは稚内上空に逆転層の形成が確認できます。

以上から東日本や北日本でダクト発生条件がそろいやすくなったと判断します。

## 【オープン情報】

長岡市(八方台)にてダクト発生状態を探ったところ、

フエリア 439.72秋田市レピータをピークRS59で受信。(強弱があり不安定)

一瞬ながら秋田県内の地デジテレビも受信できました。

9エリア 439.60高岡市レピータ、439.76氷見市レピータも反応を確認しました。





## 【最高気温】

全国的に平年を大幅に上回った。

札幌は平年差+7℃

仙台、新潟、東京、名古屋、福岡は同+6℃

東京で9月に猛暑日となったのは10年ぶり。

日最高気温の高いほうから、舞鶴38.3℃(9月1位)

京田辺(京都)38.2℃(9月1位)

豊岡 37.9℃ (9月1位)

福知山(京都)37.5℃(9月1位)

前原(福岡)37.4°C(9月1位)

小浜(福井) 37.4°C(観測史上1位)

多治見(岐阜)37.3℃(9月1位)

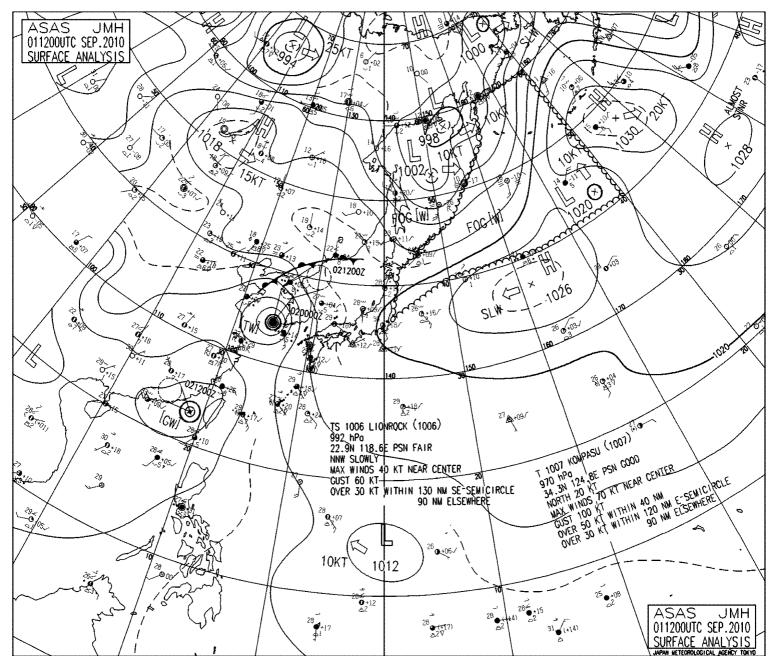
京都 37.3℃ (9月1位)

四国中央(愛媛)37.2℃(観測史上1位)

鳥取 37.2℃ (9月1位)、鳩山 (埼玉) 37.2℃ (9月1位)

-----

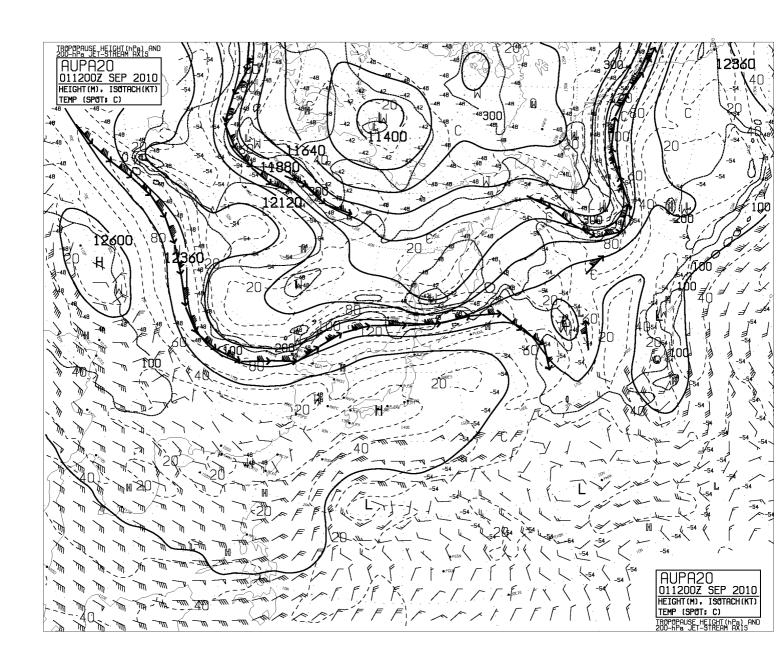
# [ASAS] アジア地上解析図

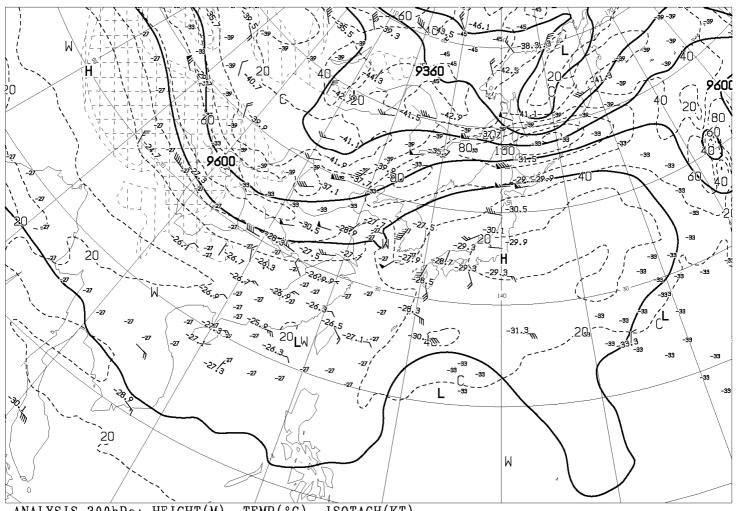


[AUPA20] アジア太平洋 200hpa 高度・気温・風・圏界面

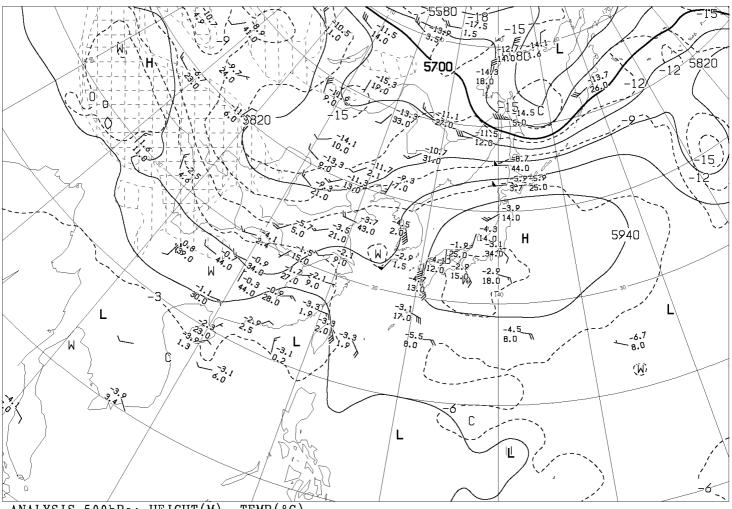
[AUPQ35] アジア 500hpa 300hpa 解析図 [AUPQ78] アジア 850hpa 700hpa 解析図

[AXFE578] 極東 850hpa 気温・風/700hpa 上昇流/500hpa 高度・渦度



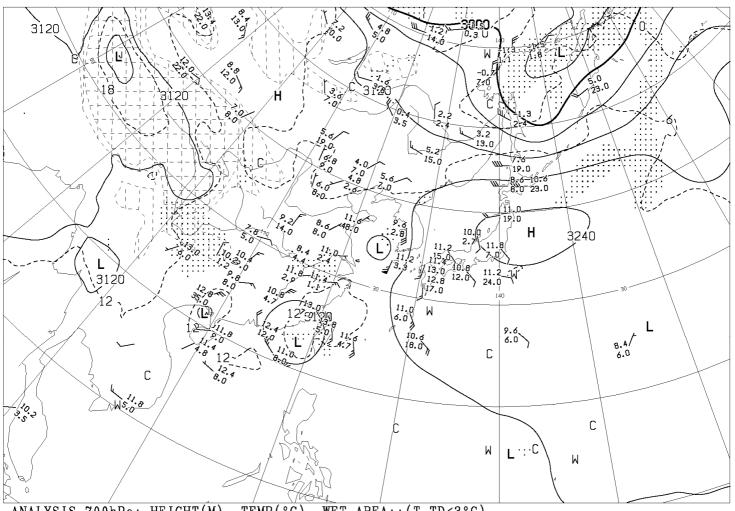


ANALYSIS 300hPa: HEIGHT(M), TEMP(°C), ISOTACH(KT)

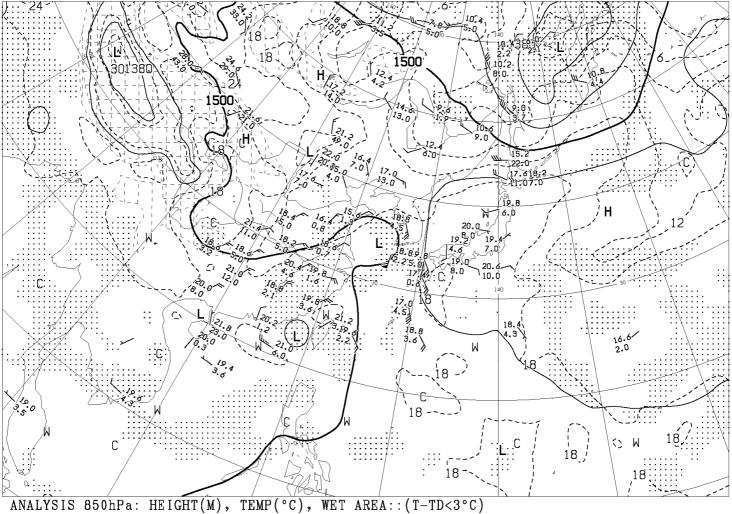


ANALYSIS 500hPa: HEIGHT(M), TEMP(°C)

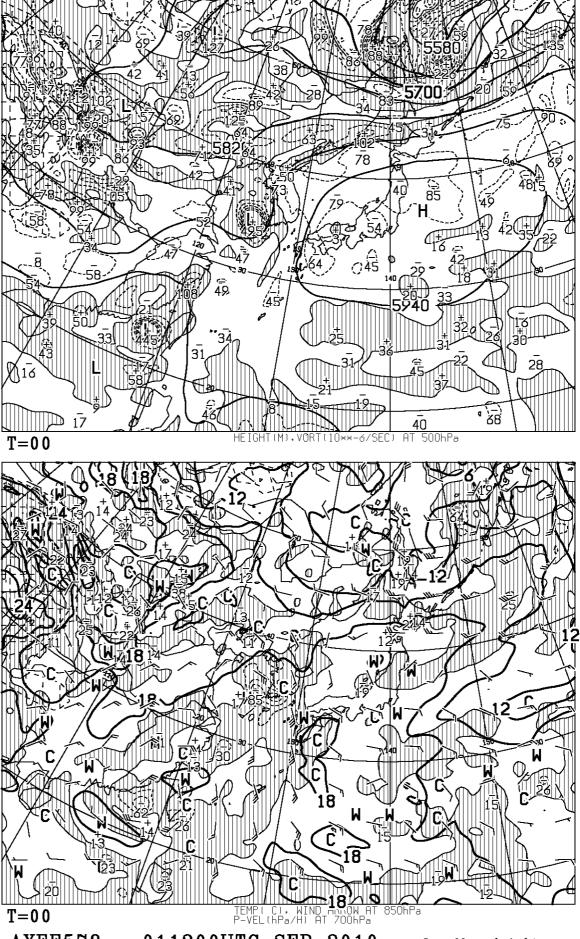
AUPQ35 011200UTC SEP 2010



ANALYSIS 700hPa: HEIGHT(M), TEMP(°C), WET AREA::(T-TD<3°C)



SEP 2010 AUPQ78 011200UTC



AXFE578

011200UTC SEP 2010

Japan Meteorological Agency

[雲画像解析情報図]

